

大阪府議会議員 土井 達也 様

提出年月日：2020 年 12 月 4 日

夢洲 2 区の湿地の保存についての陳情書

趣旨

夢洲第 2 区のヨシ群落および改変工事に未着手で現在湿地や池になっている部分（付図参照）を、全部まとめて保全してください。

陳情事項

夢洲第 2 区は以下の通り、保全する必要があります。

・ヨシ群落

理由：ヨシそのものの保全と同時に、多様な生物の生息の場を作り出す基盤として機能しているため。

・湿地部分

理由：傾斜のある干潟状地等を形成しており、そこに発生する小動物等を餌とするシギ・チドリ類の餌場となっており、同時に、シギ・チドリ類及びサギ類・カモ類・カモメ類などの安全な休息場として機能しているため。

・水の溜まっている池部分

理由：小動物や魚類などが生息し、主にサギ類・カモ類などの採食・休息場であるとともに、比熱の大きさによる気温の激変を緩和するなど緩衝機能を有しているため。

夢洲は大阪府において生物多様性ホットスポットの重要な A ランクとして位置付けられています。ことに大阪市内においては、A ランクのホットスポットは、各市にまたがる淀川ワンド群を除けば、淀川汽水域と野鳥園（咲洲）・夢洲地区の 2 か所だけです。

夢洲は国際的にも重要な渡り鳥の中継地で、現在もシギ・チドリ類、カモ類などの渡り鳥が季節ごとに多種多数渡来しています。昨年度、当協会から提出した再要望書（2020 年 2 月 20 日付）に対し、大阪市からの回答書（2020 年 3 月 31 日付）には「夢洲の南東に位置する咲洲には、多数の野鳥、渡り鳥が飛来する野鳥園臨港緑地がすでに整備されています。」とありましたが、大阪湾に渡来する渡り鳥のうち、特にシギ・チドリ類の確認数は日本国内の他の地域に比べて格段に少数です。これは、大阪湾に現存する野鳥園臨港緑地やほかの小規模干潟を合わせても、大阪を通過するシギ・チドリ類を収容できていないため、やむを得

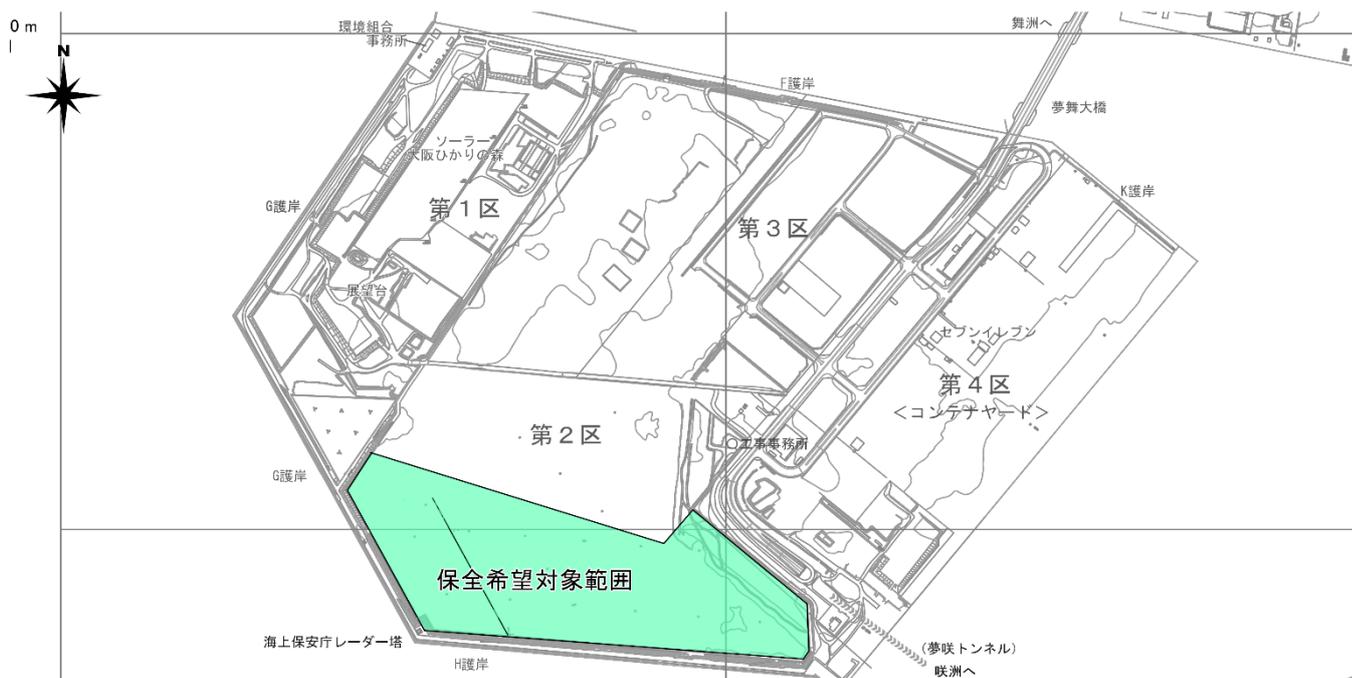
ず多くの鳥が大阪を素通りしあるいは避けているためであると考えられます。

また夢洲第2区には、大阪府内では減少しているヨシの大規模な群落ができています。このヨシ群落は大変健康な状態で、生物多様性を支えるものとなっています。ここは、関西自然保護機構からも「夢洲におけるヨシ群落及びそれに隣接する水辺環境の保全を求める要望書」が2度（2020年4月28日付、2020年8月20日付）国際博覧会協会に提出され、2度目は環境省・大阪市港湾局あてにも提出されています。

IR計画が2027年以降に延期という報道もあり、夢洲開発のスケジュールが不透明になっている現在、将来の大阪湾の自然環境に禍根を残さないため、上記の措置を要望いたします。

- ※参考資料：・（付図） 保存等していただきたい範囲の略図
- ・（付表） シギ・チドリ飛来数

以 上



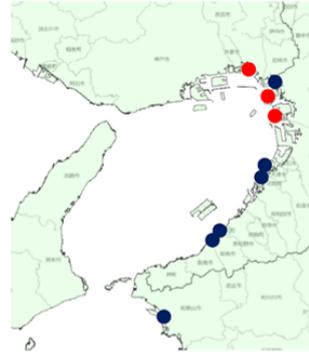
（付図） 保存等していただきたい範囲の略図

(付表) シギ・チドリ飛来数

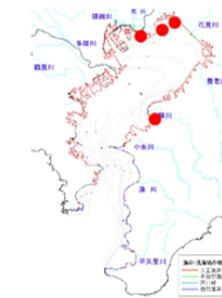
2004年以降の環境省シギ・チドリ調査での記録種数と1日最大個体数

	種数	最大個体数	面積
夢洲	53	2252	<390ha
南港野鳥園	53	863	<12ha
浜甲子園	27	959	12ha
矢倉海岸	16	138	
泉北6区	16	81	
大津川河口	16	139	
樫井川河口	16	73	
男里川河口	18	140	2ha
和歌浦干潟	23	78	35ha
三番瀬	41	3714	140ha
谷津干潟	43	2302	40ha
盤洲	42	1391	1400ha
葛西海浜公園	43	1121	

大阪湾



東京湾



モニタリング1000シギチドリ調査データより

シギ・チドリには湾奥の干潟が必要

陳情者

〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-9-13 ハイム天神橋 202
 公益社団法人 大阪自然環境保全協会
 代表 夏原 由博